

富山市ガラス美術館  
コレクション展  
ガラスを編む、心を織る



展覧会名 富山市ガラス美術館 コレクション展  
ガラスを編む、心を織る

会 期 令和8（2026）年6月6日（土）～11月29日（日）  
会 場 富山市ガラス美術館4階 展示室4・透ける収蔵庫  
主 催 富山市ガラス美術館

開場時間 午前9時30分～午後6時（入場は閉場の30分前まで）

開場日 第1・3水曜日（9月2日は開場）、9月9日（水）

観覧料 一般、大学生200円（170円）、高校生以下は無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

※本展観覧券でガラス・アート・ガーデン（6F）もご覧いただけます。

※企画展の観覧券をお持ちの方は、本展およびガラス・アート・ガーデン（6F）もご覧いただけます。

1 ポスター掲載作品：大平洋一《レース・ガラス碗 N.1「白綾」》1994年

## 展覧会について

私たちは古くから、糸をつなげながらかたちを編み、糸を交差させて布を織ってきました。「編む」と「織る」は、衣服や生活道具を生み出す技法であると同時に、世界をかたちづくるための基本的な知恵でもあります。ひとつの線を絡めながら、有機的に広がる全体を生み出すこと。縦横に繊維を交わせ、安定した面をつくること。いずれも構造と生成を象徴しています。

本展は、コレクションの中から「編む」と「織る」という視点で作品を厳選し、ガラスという素材の表現の可能性を再考する試みです。色を編むように広がるレースグラス、線を重ねて空間を築く作品、断片を結び合わせて衣服のような姿へと展開する造形。それらは単なる技巧の提示にとどまらず、人工物がどのように成り立ち、私たちの思考や関係性と響き合ってきたのかを映し出しています。

一見、硬く冷たいはずのガラスが、編まれ、織られたように立ちあらわれたとき、そこにあらわれるのは、ものづくりの原初的な感覚なのかもしれません。本展では、「編む」「織る」という営みに目を向け、ガラスの新たな表情や作品に込められた想いを紹介します。富山市ガラス美術館のコレクションがもつ多様性をぜひご覧ください。

## 主な出品作品

トゥーツ・ジンスキー《海辺》2007年、江波富士子《火》2014年、リノ・タリアピエトラ《アフリカ》2014年、言上真舟《Scent of mist》2017年、竹岡健輔《線跡 '21》2021年、安田泰三《越碧レティチェット文大鉢》2023年ほか  
すべて富山市ガラス美術館蔵（敬称略、制作年順）

## 本展章構成

### 1 | 色を編む

線や粒状のガラスを重ね、組み合わせる表現は、糸による編みや、布の織り構造にも似ています。本章「色を編む」では、古代ローマン・グラスに始まるレースグラス技法の系譜に連なる精緻な網目模様から、色板ガラスやカットで描くりズミカルなストライプや綾模様、さらに一つ一つに鮮やかな模様を持つ小さなガラス片を連ねたモザイクガラスの器まで、色と形の組み合わせが生み出す豊かなリズムと光の表情を紹介します。

#### お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号  
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310  
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



富山市  
ガラス美術館  
TOYAMA  
GLASS ART MUSEUM



2 安田泰三《越碧レティチェッコ文大鉢》2023年  
撮影：田中祐樹



3 リノ・タリアピエトラ《アフリカ》2014年  
撮影：末正真礼生

## 2 | 糸としてのガラス

溶融し引き延ばされたガラスは、やがて繊維や細い棒となり、空間を横断する「糸」として立ち現れます。本章では、糸や糸巻そのものを想起させる造形や、ファイバーガラスや細径のガラス棒を組み合わせ、線の集積とねじれによって構造を築く作品を紹介します。一見、硬質に見える素材でありながら、重なりや反復によって柔らかな量感とリズムが生まれる——その両義性が、ガラスという素材の新たな表情を浮かび上がらせてます。



4 (写真左) マイケル・シャンキー  
《ブラック・スピンドル &  
レッド・スピンドル》

撮影：室澤敏晴



5 (写真右) トゥーツ・ジンスキー  
《海辺》2007年 撮影：斎城卓

### お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号  
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310  
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



富山市  
ガラス美術館  
TOYAMA  
GLASS ART MUSEUM

### 3 | 想いを織りなす

交差し、結び合わされるガラス棒や破片は、やがて網や衣服のかたちを思わせる構造へと展開します。異なる断片が緊張感を保ちながら結びつくとき、そこには関係性が生まれます。本章では「編む」や「織る」という行為を、素材の接続を超えた営みとして捉え、記憶や想いがかたちとなった作品に目を向けます。また硬いはずのガラスが、たおやかな布を想わせる造形へと変貌した作品もあわせて紹介します。



6 言上真舟 《Scent of mist》2017年  
撮影：末正真礼生



7 竹岡健輔 《線跡 '21》2021年  
撮影：末正真礼生

本リリースに写真掲載している作品は全て富山市ガラス美術館蔵です。

#### お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号  
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310  
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



富山市  
ガラス美術館  
TOYAMA  
GLASS ART MUSEUM

## 関連プログラム

### アーティストトーク

本展出品作家のお二人にご自身の作品や技法についてお話をうかがいます。

竹岡健輔氏 2026年8月30日(日)

安田泰三氏 2026年9月5日(土)

会 場 富山市ガラス美術館 2階ロビー

時 間 各回 14:00 より(45分程度)

※事前申込制、各回 40名(先着順)、申込方法等詳細は当館ウェブサイトでお知らせします。

### ギャラリートーク

担当学芸員が出品作品についてわかりやすくお話しします。

日 時 2026年6月21日(日)、7月25日(土)、10月18日(日)、11月15日(日)

会 場 富山市ガラス美術館 4階 展示室 4 透ける収蔵庫

各回 14:00 より

参加無料 申込不要

- ギャラリートークの事前申し込みは不要です。
- 展示室への入場には、本展観覧券が必要です。
- 関連プログラムの詳細は、当館ウェブサイトやSNSなどでお知らせします。
- プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。
- 最新の情報は当館ウェブサイトにてご確認ください。

#### お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

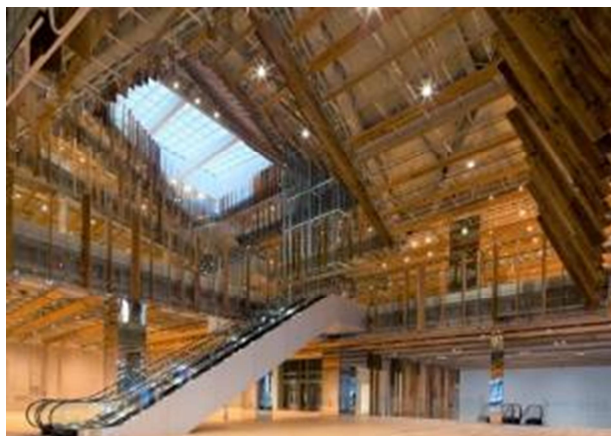
Email [bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp](mailto:bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp) Web [toyama-glass-art-museum.jp](http://toyama-glass-art-museum.jp)



## 美術館概要



8 富山市ガラス美術館 外観



9 富山市ガラス美術館 内観

富山市ガラス美術館は、「ガラスの街とやま」を目指したまちづくりの一環として、2015年8月に開館しました。本美術館は富山市立図書館本館などが入居する複合施設「TOYAMA キラリ」内に整備され、富山市の中心市街地に位置することから、文化芸術の拠点としてだけでなく、まちなかの新たな魅力創出の役割を担ってきました。

世界的な建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた建物は、御影石、ガラス、アルミの異なる素材を組み合わせ、表情豊かな立山連峰を彷彿とさせる外観となっています。また、内部は富山県産材のルーバー（羽板）を活用した開放的な空間となっています。

常設展として、アメリカの現代ガラスの巨匠、デイル・チフリー氏によるインスタレーション作品を展示する6階「グラス・アート・ガーデン」のほか、所蔵作品を紹介する4階「コレクション展」や2階から4階の展示室壁面などに富山ゆかりの作家が制作した作品を展示する「グラス・アート・パサージュ」があります。また企画展では1950年代以降のグラス・アートを中心に、様々な美術表現を紹介しています。

### 交通アクセス

〔富山駅から〕

○徒歩 20分 ○市内電車南富山駅前行に乗り、「西町（にしちょう）」下車、徒歩 1分

○市内電車環状線に乗り、「グランドプラザ前」下車、徒歩 2分

（富山駅から「西町」「グランドプラザ前」まで約 10分）

〔富山空港から〕

○地鉄バス（富山空港線）「総曲輪（そうがわ）」下車、徒歩 4分

### お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email [bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp](mailto:bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp) Web [toyama-glass-art-museum.jp](http://toyama-glass-art-museum.jp)



富山市  
ガラス美術館  
TOYAMA  
GLASS ART MUSEUM

---

## 美術館公式 SNS アカウント

---



Instagram

アカウント名  
toyamaglassartmuseum



Youtube

チャンネル名  
ToyamaGlassArtMuseum 富山市ガラス美術館

---

## 報道関係のお問合せ先

---

富山市ガラス美術館

Tel. 076-461-3100 Fax. 076-461-3310

E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp (代表)

広報担当：宇於崎 展覧会担当：北村

### 広報用画像の貸出しについて

p. 1-6 の画像 1-9 を広報用に貸出します。ご希望の方は、p. 8 の画像貸出し申請書の使用条件をご確認の上、メールまたは Fax にて上記の美術館広報担当へ申請書をお送りください。

---

### お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



富山市  
ガラス美術館  
TOYAMA  
GLASS ART MUSEUM

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者： \_\_\_\_\_  
 Tel： \_\_\_\_\_  
 Fax： \_\_\_\_\_  
 E-mail： \_\_\_\_\_  
 住所： \_\_\_\_\_  
 団体名： \_\_\_\_\_

富山市ガラス美術館 画像貸出し申請書

次のとおり、掲載用素材としてコレクション展「ガラスを編む、心を織る」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名： \_\_\_\_\_

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体  
その他（ \_\_\_\_\_ ）

3. 掲載の趣旨  
別紙のとおり（媒体資料を添付してください） \_\_\_\_\_

4. 掲載（放映）日時： \_\_\_\_\_

5. ご希望の画像番号： \_\_\_\_\_

- 画像は原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、縦横比の変更、文字のせはご遠慮ください。
- 画像掲出には別途指定するキャプションを必ず入れてください。
- 展覧会広報のみにご使用ください。他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- 商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。
- 画像の2次使用はご遠慮ください。  
 ※画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。  
 ※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。
- 校正ゲラの段階で情報の確認をさせていただきます。
- 記事が掲載された場合は掲載見本（DVD、掲載紙、掲載誌等）を美術館広報担当へご寄贈ください。

申請書送付先：富山市ガラス美術館 広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310